

## 地域とともに守る森林と暮らし (山火事予防に向けたパトロールの協力依頼)

令和8年4月27日(月)、令和8年度山火事予防パトロールの実施に向け、地域ボランティア団体「弘南森の会」及び「西北森の会」に対し協力を依頼しました。

このパトロールは、山火事の発生が特に懸念される時期に合わせて実施するもので、国有林内の巡回や入林者への注意喚起を行い、山火事の未然防止を図ることを目的としています。当署では、地域に根差したボランティア団体である両団体の皆様に、毎年継続して御協力をいただいております。

本会合では、本年度の実施期間や巡回区域、活動内容、連絡体制等について確認を行いました。今後、国有林の林道や登山道等を巡回し、入林者に対して煙草や焚き火など火の取扱いに関する注意喚起を行うとともに、不法投棄の抑止など、山火事の未然防止に向けた啓発活動が実施される予定です。

### パトロール期間中の林内について

まず森林管理署長から今年度の森林の状況について説明を行いました。今年は例年より消雪が早く進み、林内では下草や土壌の乾燥が見られるなど山火事が発生しやすい環境となっていることが報告されました。

当署署長は、

「例年より消雪が早く、下草や土壌の乾燥により山火事が起きやすい状況にあります。わずかな火の不始末が、大きな被害につながるおそれがあります」

と述べ、パトロール活動の重要性と、安全に留意した活動への協力を呼びかけました。

また、昨年度に引き続き、近年増加傾向にある熊の出没への注意や、倒木・林道状況を踏まえた安全運転についても注意喚起を行いました。



写真:山火事防止パトロール協力依頼の様子

### 岩手県での林野火災を踏まえて

今年度、岩手県内で発生した林野火災により、広範な森林被害や地域住民の生活への影響が生じたことについても共有されました。こうした事態を踏まえ、津軽森林管理署としても、これまで以上に注意を払い、山火事予防に取り組んでいく方針を確認しました。

これに対し、両団体の会長からは、  
「パトロールでは入林者に対する声かけを重視し、特に煙草のポイ捨てや不法投棄について重点的に注意喚起を行っていきたい」  
との発言があり、本年度の活動に向けた強い決意が示されました。

#### **山に入る皆様へのお願い**

山林に入られる方は、気象条件の変化に十分注意し、無理のない行動を心がけてください。空気が乾燥し、風の強い日には、ほんの小さな火元からでも山火事に発展するおそれがあります。火気の使用は極力控え、特に喫煙をされる方は必ず携帯灰皿を使用し、吸い殻は必ずお持ち帰りください。筆者も入林者と出会った際には、丁寧に注意を呼びかけてまいります。ひとりひとりの行動が、山火事の防止につながります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。